

POW研究会11年の歩み

2002年

3月31日	P研発足。アジア太平洋資料センター(PARC)にて第1回総会。共同代表:内海愛子・北博昭・笹本妙子 新潟県上越市にて第2回総会。直江津収容所跡訪問 「神戸港フィールドワーク」(by神戸港における戦時下朝鮮人・中国人強制連行を調査する会)にP研が協力
10月13日-14日	
10月14日	

2003年

3月19日	レスター・テニー著・伊吹由歌子他訳『パターン 遠いみちのりの先に』出版記念会 米国ADBC総会にP研5人参加 東京にて第3回総会。大森収容所、品川捕虜病院、隅田川収容所、文化キャンプ跡訪問
5月21日-25日	
11月2日-3日	

2004年

3月13日	ジョン・レイン著・平田典子訳『夏は再びやってくる』出版記念会 学習会。平久保正男・諸星達雄・大庭定男(旧日本軍人)「私の戦争体験」 横浜弁護士会編『法廷の星条旗』出版記念シンポジウム 京都府宮津市にて総会。大江山収容所跡など。 P研HPスタート。日本国内で死亡した連合軍捕虜全員のリストを公開
5月3日	
7月26日	
10月30日-31日	
12月28日	

2005年

1月-2月	P研作成の死亡者リストが国内外の新聞で紹介され、大きな反響 学習会。鈴木正徳(訳書『將軍はなぜ殺されたか』について)、スタンリー・ガイ(香焼収容所にいた英捕虜に P研「豪日交流基金賞」受賞 イギリスより来日のチェイニー高校生33人と日本の高校生との交流や学習会。横浜英和女学院、天龍村、 英連邦墓地など 長野県天龍村にて第4回総会。満島収容所跡訪問
3月19日	
3月22日	
8月2日-11日	
9月23日-25日	

2006年

2月5日	学習会。鈴木規夫(東京俘虜収容所長・鈴木薫二大佐の息子)「鈴木大佐の巣鴨プリズン日記」 学習会。菅原完「日本海軍と海軍兵学校」 学習会。小宮まゆみ「日本国内の民間人抑留所」 学習会。三輪祐児「日本の近代化と船」 英国王室より田村佳子と笹本妙子に名誉大英勲章(MBE) 学習会。福田勇(カウラ事件生還者)、木川小百合(カウラ会3代目会長の娘)「カウラ日本兵捕虜脱走事 キャンペラのオーストラリア国立大学にて、同大学太平洋アジア研究所とP研による共同セミナー「よりよい 理解に向けて～日本軍政下のオーストラリア人戦争捕虜の経験を読み直す」
3月5日	
4月2日	
5月14日	
5月30日	
7月17日	
8月22日-23日	

2007年

5月19日	大船収容所跡見学会 鎌倉の栄光学園にて「B-29国際研究セミナー～空襲と捕虜飛行士をめぐる」。ゲストスピーカー:トーマ ス・セイラー(米コンコルディア大学教授) グレゴリー・ハドリー、外国特派員クラブにて講演(新潟県横越村に墜落したB29飛行士について) P研、大阪経済法科大学アジア太平洋研究センターの認定研究会となり、記念シンポジウム。内海愛子、福 林徹、笹本妙子 学習会。滝沢カレン・謙三「GISプーン4杯分の米粒～捕虜だった祖父が語る戦争」 学習会。手塚尚「ウェーク島の戦闘」
5月20日	
10月10日	
10月13日	
10月20日	
12月1日	

2008年

1月20日	学習会。西里扶雨子「奉天捕虜収容所」 学習会。神直子「フィリピンと日本を結ぶビデオメッセージ・プロジェクト」 元B29搭乗員ハップ・ハロラン、外国特派員クラブで講演 グレゴリー・ハドリー、市民文化フォーラム「戦時における市民の暴力」にて講演「B29と竹槍」 米元捕虜レスター・テニー、京都ハートピアや東京星陵会館にて講演 福島市にて第5回総会。福島抑留所跡(ノートルダム修道院)見学 学習会。豪研究者イアン・フェニグワース「オーストラリア人捕虜医師ステニングの足跡をたどる」 学習会。澤田猛「父島事件の真相～米捕虜の処刑に立ち会ったある海軍少尉の証言」、手塚尚「北京原人 の化石紛失をめぐる捕虜の動き～太平洋戦争開戦時、日本占領地の捕虜収容所」 参議院外交防衛委員会にて、藤田幸久議員がP研提供の資料を提示し、麻生鉱業の捕虜問題について質 学習会。内海愛子「戦争裁判と捕虜問題」
3月15日	
4月15日	
5月24日	
5月31日	
6月7日-8日	
9月27日	
10月25日	
11月13日	
11月29日	

2009年

1月24日	学習会「麻生鉱業捕虜使役問題」 民主党・藤田幸久議員、衆議院第1会館にて「麻生鉱業捕虜使役問題」に関する報告会と記者会見。 学習会。小宮まゆみ「敵国人抑留～戦時下の外国民間人」、長澤のり「南太平洋クルーズ捕虜交流記」 オランダ王室より、長澤のりに「オレンジ・ナッソー賞」
2月6日	
3月28日	
4月28日	

5月23日	学習会。白戸仁康「北海道の捕虜収容所」
5月30日	米国ADBC総会にP研より2人参加。元捕虜の苦難に対し、藤崎駐米大使が日本政府として公式に謝罪。
5月31日	江田五月参議院議長、英連邦墓地を訪問。
6月14日-21日	「元捕虜・家族と交流する会」の招きで、麻生鉱業の元捕虜ジョー・クームズ(豪)と元捕虜の息子ジェームス・マクアナルティ(英)が来日、鳩山由紀夫民主党代表や江田参議院議長らとの面談や記者会見。福岡、長崎、神戸の収容所跡を訪問、地元民と交流。
7月16日	石井信平さん逝去
7月23日	共催シンポジウム「ジュネーブ条約記念の集い」。憲政会館。内海愛子、李鶴来、鈴木五十三など
10月3日-4日	千葉県一宮町にて第5回総会。「千葉県中部地域における連合軍機墜落事件」の跡地を巡る。
11月21日	学習会。内海愛子「東京裁判と捕虜問題」
12月16日	「オランダ捕虜銘々票翻訳プロジェクト」に関し、オランダ国立公文書館員と打ち合わせ

2010年

1月16日	学習会。前川佳遠理「アジア太平洋戦争における日本軍の捕虜政策とアジア系捕虜の軍事動員～日本の東南アジア占領と兵補制度」
2月6日-17日	第8回MPPCにP研より7人が参加。シンガポールとマレーシア南部の華僑虐殺事件と捕虜収容所跡
3月20日	「オランダ捕虜銘々票翻訳プロジェクト」に着手(説明会)
4月3日	学習会。デヴィッド・モートン「泰緬鉄道からの生還;ある英国兵が命をかけて綴った捕虜日記」
5月30日	学習会。蘭ドキュメンタリー「オランダと日本の戦争の古傷」鑑賞。大庭定男「私のインドネシア従軍体験とオランダとの関係」
7月24日	学習会。グレゴリー・ハドリー「竹槍の里」に墜ちたB29～その後の話」。スーザン・グラント「竹槍の里」に墜ちた父の記憶をたどって」
9月12日-19日	外務省招聘による第1回米元捕虜・家族の来日。レスター・テニー等7人+家族。岡田外務大臣が公式謝罪。東京にて交流集会。
12月7日-11日	カナダ元捕虜・家族38人が来日し、P研と交流集会

2011年

1月15日	学習会。英ドキュメンタリー鑑賞「Hell in the Pacific」
2月26日	国際シンポジウム「銘々票から見たオランダ兵捕虜の実態と日本軍の捕虜政策」
3月2日-9日	外務省招聘による第1回豪元捕虜・家族の来日。ローリー・リチャーズ等5人+家族。前原外務大臣が公式謝罪。東京にて交流集会
4月23日	学習会。鈴木正徳「訳書『射殺されたガダルカナル日本兵捕虜～フェザーストン事件を追う』をめぐって」
5月15日	学習会。大庭定男「私の戦争体験～ジャワ駐留とJSP時代」
5月24日	出版記念講演会。マイク・ニコライディ「射殺されたガダルカナル日本兵捕虜～フェザーストン事件を追う」
7月23日	学習会。坂口春海「ボマナ日本人戦争墓地／京都霊山観音の連合軍捕虜の死亡記録」
8月15日	P研がオランダ国立公文書館から翻訳委託された「オランダ蘭印軍捕虜死亡者 銘々票 翻訳データベース」が同公文書館ウェブサイトで公開。
9月17日-18日	四国フィールドワーク。第1次大戦の板東収容所跡(徳島県鳴門市)、第2次大戦の善通寺収容所跡(香川県善通寺市)を巡る。
10月16日-23日	外務省招聘による第2回米元捕虜・家族の来日。ロバート・フォグラ等7人+家族。玄葉外務大臣が公式謝罪。東京と京都にて交流集会。
11月27日-12月5日	外務省招聘による第2回豪元捕虜・家族の来日。ローナ・ジョンソン等5人+家族。玄葉外務大臣が公式謝罪。東京と奈良にて交流集会。
12月8日	カナダより元捕虜3人と退役軍人省大臣等が来日、外務省の加藤政務官が公式謝罪。

2012年

3月4日	小野木祥之さん逝去
3月25日-29日	台湾フィールドワーク。10人参加
3月31日	小野木さんを偲ぶ会。P研&MPPC共催
4月28日	学習会。有光健「戦後補償・現状と今後の展望」
6月10日	学習会「台湾フィールドワーク報告会」
7月21日	講演会「ハロランの東京大空襲」講師:早乙女勝元
7月22日	交流研究会。「イタリア人捕虜をめぐって」ヴェニス大学教授 Guido Samarani
10月3日-8日	外務省招聘による第3回豪元捕虜・家族の来日。ウィリアム・シュミット等4人+家族。玄葉外務大臣が公式謝罪。東京にて交流集会。
10月13日-21日	外務省招聘による第3回米元捕虜・家族の来日。ダグラス・ノータム等7人+家族。玄葉外務大臣が公式謝罪。東京と京都にて交流集会。
10月23日	交流研究会「満州にあった連合軍捕虜収容所」講師:瀋陽大学奉天捕虜収容所研究所所長 楊竟(ヤン・ジン)／遼源市新聞文化局副局長 于杰(ユー・ジエ)

文責:笹本妙子